

見どころ案内

チューリップ (ユリ科)
イランからパミール高原、カザフスタン原産。色とりどりのチューリップが咲き誇っています。

リキュウバイ (バラ科)
中国原産のバラ科の落葉低木で、漢字で書くと「利休梅」となり、利休にちなみませんが、日本に入って来たのは明治時代末です。

ボケ (バラ科)

芝生広場からを香の小路に上がる石段の脇に咲いています。名前の由来は果実が瓜に似ていることから、木になる瓜で「木瓜」と呼ばれていたのが転訛したものとされています。果実を果実酒などにします。

サクラ(八重桜) (バラ科)

淡黄色の鬱金、御衣黄、ピンク色の関山、八重紅虎の尾、普賢象、サトザクラの一葉など八重桜が次々に咲き出しています。足元のコバノミツバツツジとの競演も綺麗です。

オガタマノキ

(モクレン科)

‘ミックスドアップス’などが開花中です。

押し花美術作品展

～5月11日(水)

四季折々の植物を素材として、季節ごとの情景を描いたおし花作品を展示します。

[展示資料館1階展示室にて]

モモ ‘キクモモ’

(バラ科)

花卉が細長くキクに似ていることから名づけられました。濃い紅色の八重咲きで、モモとは思えない花を付けています。

シャクナゲ (ツツジ科)

アカボシシャクナゲを始めとして、次々と咲き始めています。

ゼラニウム展

～4月20日(水)

大正～昭和初期に流行した変わり葉ゼラニウムなど、貴重なコレクションもあります。
[展示温室にて]

大温室改修に伴い閉館中

リニューアルオープンは平成29年秋ごろ(予定)しています。

ハンギングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットを展示。「春の植物公園をいっそう華やかに盛り立てる印象深い植栽」をテーマに、ゼラニウム、オカメツタ、ブッドレアなどを使っています。
[日本ハンギングバスケット協会 ハンギングバスケットマスター作]



2013.12. Fuzii K.

※ 大温室は大規模改修のため、休館中です。(リニューアルオープンは平成29年秋ごろの予定です。)